



The Young Researchers Association of the Japanese Society for Hygiene Newsletter

日本衛生学会若手研究者の会 春の通信

● 定期会合の報告

2025年3月19日から21日に開催された第95回日本衛生学会学術総会の1日目に若手研究者の会・定期会合を行いました。今年は、埼玉医科大学・社会医学 教授 亀井美登里先生の運営により、さいたま市のソニックシティで現地開催となりました。

若手自由集会として、企画1「身の回りにおける化学物質とその影響-衛生学研究から見てきたこと-」では、藤原 悠基先生（群馬大学）、宗才先生（東京理科大学）、宮崎 航先生（弘前大学）、伊藤 弘明先生（順天堂大学）、龍田 希先生（国立環境研究所）にご登壇いただき、多くの先生方にご参加いただき、質疑応答も活発に行われました。企画2「交流会」でも、45名程度の先生方にご参加いただき、自己紹介や研究内容などをグループ内で発表し合い、盛会のうちに若手企画を終えることが出来ました。

また、学術総会期間中はポスター発表として、「若手研究者の会のこれまでの活動と今後の展望」と「昨年若手会にて実施したアンケートの調査結果」の2演題を発表する機会を頂き、学会全体にも若手研究者の会の活動と重要性をアピールできたと考えております。

最後に、若手自由集会ならびに定期会合にご参加いただいた会員の皆様、誠にありがとうございました。今後も、若手研究者の会への積極的なご参加をよろしくお願い申し上げます。



- 今年度の世話人について

3月19日の若手研究者の会 定期会合により、今年度の世話人は以下の16名の立候補者全員が信任されました。

大和田 賢（東海大学）
岡村 和幸（国立環境研究所）
小野田 淳人（山口東京理科大学）
北村 祐貴（自治医科大学）
木戸 尊将（東京慈恵会医科大学）
木村 栄輝（福井大学）
小林 果（三重大学）
舒 浩璐（早稲田大学）
瀬川 悠紀子（大阪成蹊短期大学）
武田 美都里（九州大学）
中下 千尋（熊本県立大学）
藤谷 倫子（京都府立大学）
藤原 悠基（群馬大学）
丸山 紗季（国立循環器病研究センター）
宮山 貴光（東京女子医科大学）
吉岡 弘毅（北里大学）

※3月31日の世話人会において、代表世話人に北村祐貴が選出されました。

- 今期の活動内容について

例年通り、夏の集いでは、若手研究者を中心とした研究発表会と交流会を行う予定です。来年3月の学術総会(栃木)でも、1日目に若手の会企画を開催する予定です。

- 夏の集いについて

2025年8月4日(月)13時～18時に東海大学伊勢原キャンパス 松前記念講堂1F(神奈川県伊勢原市)で開催します。例年通り懇親会も行う予定です。なお、本年は現地参加のみでの実施となります。皆さまに楽しんで頂けるよう、準備を進めておりますので、多くの方々からご参加・ご発表頂けますと幸いです。開催概要ならびにお申込みは下記 Google フォームをご覧ください。

締切り：2025年6月30日(月)



大山阿夫利神社（伊勢原市）

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfxGFUPQqYO20x6ivd4mx-LTESb_5ZcHOjOJ7ZCPNYNdatM4Q/viewform?usp=dialog

● 世話人紹介

国立環境研究所
環境リスク・健康領域
病態分子解析研究室
主任研究員
岡村和幸



研究テーマ

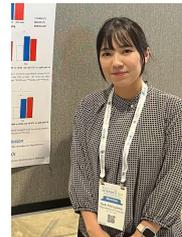
身のまわりの環境が生体に及ぼす影響のメカニズム (悪影響の予防と治療)

- 無機ヒ素曝露による細胞老化の誘導メカニズム（予防）とヒ素が誘導する老化細胞を特異的に除去する（治療）方法の検討
- 老化促進モデル（SAM）マウスにおける睡眠障害のメカニズム研究（腸内細菌などの関わりを検討中）
- LED光に含まれるブルーライトによる睡眠、寿命への影響研究

ひとこと：

アットホームな雰囲気若手の会、とても良いなと思って参加させて頂いています。趣味はバドミントンです！是非みんなで楽しく、熱く研究を進めていけたらと思いますので、引き続きよろしく願いいたします！

国立循環器病研究センター
心臓生理機能部
リサーチフェロー
丸山 紗季



研究テーマ

- 昆布や酢昆布、それらに含まれる食物繊維の摂取による高血圧予防効果とその機序
- 米ぬかの摂取による認知機能低下予防効果の検討
- 家族性肥大型心筋症の心腎連関

ひとこと：

2024年度より世話人を務めております。若手研究者の皆様が研究活動しやすく、交流の場としても活用できるよう、微力ながら尽力してまいります。趣味は、旬の野菜を使った料理をすることです。夏の集いや総会の企画で、皆様にお会いできることを楽しみにしております。どうぞよろしく願いいたします。

熊本県立大学
環境共生学部
食健康環境学専攻
助教
中下 千尋



研究テーマ

公衆栄養学、公衆衛生学、栄養疫学

- 脂肪肝発症における食事や飲酒の影響：遺伝子多型によるテーラーメイド型保健指導法の検討
- 母親の体格が母乳成分に与える影響
- 大学生の食生活調査

ひとこと：

昨年度より若手の会に参加させていただき、様々な分野の先生方にたくさん刺激をいただいております。多くの方が研究のヒントや交流の機会を得られる場となるよう尽力していきます。管理栄養士の資格を持っており、食べることが大好きです！最近はパンを焼くことにハマっています。これから若手の会企画で、皆様にお会いできることを楽しみにしております。どうぞよろしく願いいたします。

● OB・OG 世話人紹介

西村泰光, 川崎医科大学 衛生学 准教授

“免疫を診て生を衛る！”

衛生若手OB

免疫毒性影響の解析
(主に石棉曝露影響)および
関連疾患の免疫動態解析に
取り組んで来ました。
免疫のことで何かあれば
いつでもご連絡下さい！

免疫療法
Immunotherapy

免疫チェックポイント阻害薬
(ニボルマブetc)

薬
Drug

療
Therapy

Prevention

免疫
Immunity

Immunitas: Freedom from diseases & Freedom from epidemics

免
Immunis

疫
Disease (Epidemic)

病
Disease

衛生
Life

Immunology for Preventive Medicine 免疫衛生

免疫毒性
Immunotoxicology

毒
Poison (Toxin)

疾
Disease

患
Patient

中皮腫
Mesothelioma

石綿 Asbestos

免疫衛生学会を立ち上げました！(2024~)
<https://sites.google.com/view/iigehpm/>

- ◆ 経歴：京大 理学科(ゼロ免)⇒京大 修士⇒京大・院・医 博士⇒兵庫医大環境予防医学 助教⇒川崎医大衛生学 講師⇒准教授⇒Oxford大学GTC⇒川崎医大衛生学 准教授
- ◆ 学会：日本毒性学会理事(国際毒性学連盟IUTOX担当), 日本免疫毒性学会運営委員/理事(連携学会担当), 日本衛生学会代議員/編集委員, 日本産業衛生学会編集委員, 老化促進モデルマウス(SAM)学会評議員, 米国毒性学会SOT正会員, その他いろいろ
- ◆ 外部委員：JaCVAM免疫毒性試験資料編纂委員会委員長, 環境省 環境リスク評価委員会 免疫毒性WG委員, 環境省 石棉読影の制度確保等に関する検討会委員

第84回 日本衛生学会学術総会 2014年, 岡山

SOT2018, San Antonio

SOT2025, Orlando

IOCH2025, Mexico

日本衛生学会連携研究会
免疫衛生学研究会HP⇒

上田佳代 北海道大学大学院医学研究院衛生学教室 教授

研究テーマ: 環境と健康をよくする！

- 環境疫学(気候変動、大気環境)
- 環境保健
- グローバルヘルス

若手の会の思い出

若手の会の話があまりに楽しく夜更かしたため、翌日の発表に遅れそうになりました。焦って発表したので発表時間が3分も短縮し、質疑応答が長かったです。もちろん、分野を超えた研究の議論はとても刺激になりました。

若手研究者のみなさま

衛生学を通じて、分野横断的なつながりを楽しんでください。その時だけでなく、そのあとずっと糧になります。

若手の会世話人を通じて知り合った梅村朋弘先生とインドのプロジェクト(大気浄化、公衆衛生および持続可能な農業を目指す学際研究: 北インドの糞焼きの事例)で一緒にしました。

インド北部パンジャブ地方の小学校にて

※最後に

若手研究者の会への参加登録は随時募集しております。お知り合いの方でご興味がありそうな方がおられましたら、是非、ご連絡をお願いします。なお、若手の会に年齢制限は設けておりません！学生、若手研究者、OB・OGの先生方、衛生学研究にご興味のある非会員の方々の積極的なご参加をお待ちしております。

それでは、夏の集い（8月東海大学）と次回定期会合（2026年3月栃木県総合文化センター）でお会いしましょう！！

--

日本衛生学会若手研究者の会

jsh-yra@nacos.com